

工事用エレベーター用免震基礎

(すべり支承)

三成研機株式会社

近年、免震建物の建設に外部建ての工事用エレベーターやタワークレーンが多く用いられています。通常これらは地上に設置する事が多いため、免震装置上の建物と工事用エレベーター等は地震時の挙動が異なる事が想定されます。

建物の建て方に並行して、ガイドレール等に壁つなぎを取付けてクライミングしていきますが、地震動により免震装置が作動する建物上部の水平移動量は小さく、地上に設置されたガイドレール等の水平移動量は大きいため、ガイドレール等に大きな力が働く恐れがあります。

工事用エレベーター用免震基礎は、ステンレス板および低摩擦樹脂プレートとで構成されており、エレベーター構造規格で定められている地震荷重（振動加速度 200gal、震度 5 程度）より大きな地震力が働いた時に、工事用エレベーター用の免震基礎（すべり支承）のステンレス板と低摩擦樹脂プレートの間ですべりが生じ、地震力を吸収することによりガイドレール等の破損を防ぎます。



工事用エレベーター



免震基礎（すべり支承）

